

# 孫の手通信



## 第14号

平成22年12月2日

玉川孫一郎と歩む会

TEL/FAX: 050 (5549) 6005

<http://magoichiro.blog47.fc2.com/>

## 新ニコニコサービス始まる

本年10月1日から新ニコニコサービスがスタートし、利用者第1号の市原様のお宅にお迎えに行き、花束を贈り、社会福祉協議会会長の白井様、市原様と3人でテーパーカットを行いました。現在一宮町では、65歳以上の高齢者の割合が4人に1人ですが、数年後には3人に1人になると予測されます。車を運転できない高齢者の方の買い物や外出の足をいかに確保するかが町の大きな課題になっています。

そこで、昨年2月から関係者を集めた協議会で検討を重ねた結果、国の補助事業を活用して、新しい外出支援事業を新ニコニコサービスという名前で試行することになりました。期間は、10月1日から1年間。車は3台で運転はシルバー人材センターの会員の方が行います。従来のニコニコサービスは、医療機関への通院介助事業でしたが、新ニコニコサービスはこれを拡大し、町内であればどこへでも自宅から目的地まで送迎する外出支援事業です。車を運転できない高齢者や障害者の方の買い物や外出の足となることが期待されます。

当面は利用日の3日前までに予約する事前予約制ですが、今後改善を重ね、前日までに予約すれば利用できるようにしたいと考えています。そうなれば、利用者は飛躍的に増加すると思います。また、利用するためには、事前に登録が必要なので、身近でまだ登録されていない方がいたらぜひ登録を勧めてください。



「新にここサービス」とは

対象者：町内にお住まいの65歳以上の方と身体の不自由な方  
利用範囲：町内全域（制限なし）  
登録方法：福祉健康課窓口（保健センター内）へ申請書を提出  
申込方法：3日前までに一宮町シルバー人材センター（TEL42-1500）に予約  
利用回数：月4回（透析の方は月8回）  
利用料金：無料  
運行日：月～金曜日（休業日 祝日・年末年始）  
運行時間：8時30分～16時30分  
お問合せ：福祉健康課福祉グループ TEL42-1431

## 東浪見土地区画整理事業

### 解決へ大きく前進

10月25日、町は東浪見土地区画整理組合（小関国男理事長と東浪見土地区画整理事業に関し、町が公共施設管理者負担金として2億8,141万3千円を支払う覚書を締結し、28日に組合に支出しました。

昭和63年、町の主導で始まった東浪見土地区画整理事業は、折からのバブル崩壊で造成した宅地が売れ残り、金融機関への債務返済が大きな課題となっています。

6月の議会で公共施設管理者負担金の予算については、議会の議決を得ていますが、その後の組合の努力により賦課金の徴収率が94パーセントに達したこと、保留地販売価格の引き下げなどにより保留地の販売も進み、金融機関への債務返済の見通しが立つたことから覚書を締結し、支払うことになったものです。

なお、公共施設管理者負担金は、組合が造成した新しい道路の負担金として町が土地区画整理法第120条により組合に負担するものです。

今後の予定は、平成23年度に換地処分を行い、平成24年度に組合解散を目指しています。組合事業の完遂によって、住宅の新築や人口増による税収増が見込まれるほか地元商業の活性化等の間接的な経済効果が見込まれます。

東浪見土地区画整理事業の解決は、2年前町長に就任した時、私が引き継いだ懸案事項のなかで一番大きな問題です。今回、解決に向けて大きく前進したことは、大変うれしいことです。

これまで、町民の皆様をはじめ議会、関係者の皆様には、長期間にわたり、この問題解決に向けて、ご指導、ご協力を賜りましたことを心からお礼申し上げます。

### 東浪見土地区画整理事業の債務返済の基本的な仕組み

- 組合員 賦課金を9億8千万円負担
- （組合役員 保留地を3億7,197万8千円で購入）
- 金融機関 延滞利息を含む損害約20億円を放棄
- 一宮町 公共施設管理者負担金2億8,141万3千円を負担

## 初議会

11月9日、町議会議員選挙後の初議会が開催され、議長に秦重悦議員、副議長に室川 常夫議員が選出されました。

日本の地方自治は、住民が直接選挙で選出する首長と議会が運営するいわゆる二元代表制のシステムをとっています。

このシステムには二つの大切な役割があると思います。一つは権力の暴走や誤りを防ぐために権力を2つに分けてお互いに抑制し、監視する役割です。

もう一つは、住民の福祉のために、町の課題を解決するためにお互いに切磋琢磨し、協力する役割です。

今年12月23日に一宮町が誕生して120年目の節目の年に当たります。

この120年間、戦争や災害と色々なことがありました。相次ぐ戦争にたくさんの方が動員され、尊い命を失い、水害や地震で大きな被害を受けました。しかし、どんなに厳しい状況の中でも、私たちの先人は、諦めないで、力をあわせてより良いまち

